みどりの東北

Midori no Tohoku

No.242
令和6年 2024.5
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office



奥に見える鶏頭山は、麓から眺めると鶏のトサカの様に見えることから名づけられたようです。手前の早池峰ダムは、花巻市大迫町にある多目的ダムで６つの公園があり、鶏頭山と織りなす四季折々の景色がとても美しいスポットです。

鶏頭山（けいとうさん）と早池峰ダム（岩手県花巻市）
［提供：岩手南部森林管理署遠野支署］

CONTENTS

地域発NEWS …… 1～4
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 5～6
特集コーナー …… 7
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 8
地域のこの人 …… 9
東北森林管理局の管内で予定されているイベント情報 …… 10
新任者・退任者挨拶 …… 11～14

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理署（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

「国民参加の森林づくり」への取組

青森

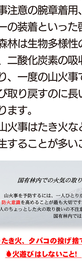
三八上北森林管理署

東北森林管理局では、国民の皆様の「自ら森林づくりをやってみたい」というニーズに応えるため、森林管理署等と実施する団体との協定締結により、多様な森林整備や保全活動に対して自然豊かな国有林のフィールドを提供しています。この取組では活動目的に応じて、６つのタイプの森林づくりがあり、ここでは当署におけるタイプの森林づくりの協定を紹介いたします。

三沢海岸に隣接する国有林には、「社会貢献の森（田中建設工業未来の森）」を設定し、クロマツの植栽を通じて防風林造成に力を注いでいます。

青森県生活協同組合連合会の「ふれあいの森」は、牛乳パックの回収による収益金を「植林を中心とした森林を守る活動に役立てることを目的」に始まり、この取組は令和５年度の活動で22回目を迎えております。

三本木高校附属中学校の「遊々の森」では、当署職員が講師となり森林の役割や大切さ、木材の利用などについて説明するなど、森林を活用した森林環境教育を行っています。



「遊々の森」での活動風景（三本木高校附属中学校）

また、三本木高校や法奥小学校でも森林環境教育を行っており、今後も国有林のフィールドを提供しながら、様々な活動を通して、森林に親しみを持っていただけるよう取組を行っていきます。

山火事予防にご理解を！

岩手

盛岡森林管理署

３月から５月にかけては強い風が吹く日が多く、空気が乾燥している気象条件に加え、冬に落ちた枯葉が山に積もり、山火事が発生しやすい時期となっています。

このようなことから、入山する一般の方々に山火事予防のチラシを配布することで、山火事予防の普及啓発を図っています。本年は３月に岩手県担当者と一緒にチラシ配りを行いました。毎年、アウトドアショップに県と共同で制作した山火事予防チラシを置かせていただき、ショップ利用者の皆様に注意喚起しています。

当署ではほかにも各地区山火事防止対策推進協議会の出席や山火事防止パレードへの参加のほか、横断幕・のぼり・看板等の設置、現場業務時は山火事注意の腕章着用、官用車に山火事注意ステッカーの装着といった啓蒙活動も行っています。

森林は生物多様性の保全や洪水・土石流発生防止、二酸化炭素の吸収など多くの機能を果たしており、一度の山火事でこれらの機能が失われると再び取り戻すのに長い年月と高いコストが必要となります。

山火事はたき火など、私たち人間の不注意から発生することが多いことから、一人ひとりが意識することによって山火事防止につながります。皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



山火事予防チラシ

森林資源（広葉樹）の有効活用について

岩手

岩手南部森林管理署

森林管理署では、森林整備として間伐等の適切な施業を行いスギなどの針葉樹の他にナラなどの広葉樹も販売しております。

しかしながら、近年は、ナラ枯れ被害等により、貴重な木材資源への影響が懸念されているところです。

当署でも、岩手県県南広域振興局とナラ枯れ被害対策の連携強化に関する協定を締結し、被害拡大防止に取り組んでおりますが、被害の終息までには至っていない状況です。

そこで、被害前のコナラ等、木材資源の有効活用を図るため、令和５年度の森林整備事業においては、広葉樹の森林整備を行い、その際に得られたコナラ等の販売を行っております。

近年、広葉樹材は、家具や内装材としての需要が高まっていることから、令和６年２月に行われた委託販売では、岩手県内の木材関係者はもとより、秋田県や関東地方、遠くは中部地方の木材関係者が高値で購入するなど大変盛況でした。

今後も、針葉樹一辺倒ではなく、地域ごとの優れた森林資源を有効活用するため、多様な木材を供給し、木材市場の活性化に向けた取組を進めていきます。

販売したナラ（写真提供：岩手県森林組合連合会）

時代とともに変化する千歳山のアカマツ林

山形

山形森林管理署

山形市東部に位置する標高471mの千歳山は、アカマツ等の緑が映え市内各所から眺望でき、三角形の山容は、山形市の景観・文化的シンボルとして市内多くの学校の校歌に謳われており、身近な存在として市民に親しまれています。

千歳山の山域の大半は国有林（68ha）であり、当署では、昭和45年に自然休養林、昭和55年に保健保安林に指定して保全と利用に取り組んできていますが、昭和57年に松くい虫による被害が確認されました。

以来、被害木のくん蒸処理等による被害の防除に取り組んでいますが、アカマツの被害木数の累計は１万本を超えており、被害の根絶を期す上で、隣接する民有林も協調した防除の徹底が不可欠です。

被害木のくん蒸処理状況

地域住民によるアカマツの植樹活動も行われてきましたが、時代の変化により木材が燃料や肥料の供給源としての役割も終えるなど地域の利用形態の変化もあり、広葉樹林化が進行しています。

千歳山から望む山形市街

教科書どおりに自然遷移が進んでいく千歳山を見るにつけ、山の様子のモニタリングを行いつつ、アカマツ林の保全は、土壌が未発達の山頂部等アカマツの特性の発揮が期待される区域に重点化するなど、時代に見合った千歳山との関わりを地域とともに見出していくことが必要と考えています。

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

地域と連携した秋田駒ケ岳登山道整備

秋田森林管理署

秋田

日本二百名山の一つでもある「秋田駒ケ岳」は十和田八幡平国立公園の南端に位置しており、コマクサをはじめとした高山植物が豊富な山として知られています。

当署では多くの来訪者に安心して美しい景観を楽しんでいただくため、秋田県や仙北市、地元の観光協会、秋田林業土木協会などの地域の関係者等と連携し、登山道周辺の自然保護と登山者の安全確保を目的とした登山道周辺の整備を例年６月１日の山開き前に行っています。



残雪の登山道へ向かう作業者

令和５年度は5月29日に約50名が参加して実施し、晴天にも恵まれた作業当日、作業道具と杖を担ぎ、登山道を１時間ほど登り、雪深の除雪とロープを張る作業にみんなで力を合わせて汗を流しました。

今後もこのような活動を通じ、自然環境の保全などに努めて行くとともに、来訪者や地域の皆様に森林がより身近に感じてもらえるように、取組を行っていきます。



雪深を掘り進みロープを張る作業

地域ニーズに応じる国有林を目指して

三陸中部森林管理署

岩手

令和５年11月21日に大槌・気仙川流域国有林の森林計画に関する住民懇談会を開催しました。

この住民懇談会では、令和７年４月を始期とする大槌・気仙川流域森林計画区の地域管理経営計画等の作成にあたり、国民参加の森林づくりを進める一環として、国有林の森林計画等に関する説明を行うとともに、地域の皆様からご意見・ご要望をお伺いしています。



職員による次期計画についての説明

参加者からは、木材産業全体の活性化や木材産物の安定供給だけでなく、「病虫獣害対策の必要性」や「水資源・温暖化防止等の環境保全機能の期待」など、日常生活に密着した多種多様なご要望をいただきました。



要望を出す参加者

このような森林の有する多面的な機能への期待は、近年頻発する豪雨災害や、市街地近郊へ出没するクマ等の野生動物への不安が一因と考えられます。どちらも長期的かつ継続的な取組が必要であり、国有林だからこそ期待される役割であることを再認識しました。

利用期を迎えた森林資源は貴重な財産です。伐採・利用・植樹・保育の循環利用により、健全な森林が育成されます。引続き地域ニーズへの対応と林業・木材産業の活性化の両立を目指した森林計画に基づき国有林野事業を実行していきます。

林道工事と木材利用

三陸北部森林管理署久慈支署

岩手

農林水産省木材利用推進計画に基づき、農林水産省関係公共土木工事については、関係法令、構造、設置場所、コスト、緊急性を要する場合等の制約を受けるものを除き、合法木材等を利用した工事を積極的に推進しています。

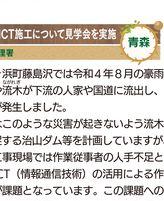
当支署では令和５年度に林道（林業専用道を含む）の調査設計を３件、新設工事を１件と改良工事を２件行いました。その中から、上記に基づき新設した大葛越林道について紹介します。



大葛越林道

大葛越林道は久慈市山根町にある戸鎖山国有林の林道、大葛沢林道から分岐する林道です。

この新設工事では、土を盛り固めて法面を保護するための「丸太伏工」「木柵工」も行っており、木材を使用する工種を用いることで、木材利用の推進と環境負荷の低減に寄与しています。



左上：木柵工　右：丸太伏工

林道は間伐や再造林等の施業を効率的に行うとともに、木材を安定的に供給するために重要な生産基盤となっています。国有林の管理・経営のため、これからも安全で丈夫かつ環境負荷に配慮した林道を整備していきます。

治山ダムのICT施工に関する見学会を実施

青森森林管理署

青森

青森県外ヶ浜町蓬田沢では令和４年８月の豪雨により土砂や流木が下流の人家や国道に流出し、大きな被害が発生しました。

国有林ではこのような災害が起きないよう流木や土砂を捕捉する治山ダム等を計画しています が、近年、建設工事現場では作業従事者の人手不足となっておりICT（情報通信技術）の活用による作業の効率化が課題となっています。この課題への当署の取組として、設置する治山ダムの土砂掘削作業でICTを活用することとしました。これにより測量や土砂の掘削位置を現地に表示することが不要となるほか、建設機械オペレーターは補助員なしで運転席に設置したタブレット端末にリアルタイムで表示される掘削位置情報を確認しながら正確に作業を進めることが可能となりました。

また、こうした効率的且つ正確な作業を広く展開するため、令和５年８月22日の作業時には、東北森林管理局や青森県の治山担当者24人が参加するICT施工の見学会を開催しました。見学会では、担当職員がICT建設機械やタブレットに表示される掘削位置情報を説明し、参加者からはそれぞれの現場に導入する際の課題やICT活用のメリットについて活発な意見交換が行われました。



ICT建設機械の説明の様子



完成した治山ダム

今後も自治体等と連携しつつICTの活用による効率化に努めていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城

宮城県加美郡加美町

宮城北部森林管理署

加美町は、平成15年４月１日に、中新田町、小野田町、宮崎町が合併し『加美町』となりました。宮城県の北西部に位置し、面積は約461㎢あり、県内でも有数の面積を有しています。西部は奥羽山脈を隔てて山形県尾花沢市に、南部は宮城県色麻町に、北部から東部にかけて宮城県大崎市に接しています。

町のほぼ中央には、その山容の美しさから加美富士とも呼ばれ親しまれている「薬來山」がそびえています。標高はわずか553mと低い山ですが、独立峰であるため頂上からは大崎平野が一望できる絶景が楽しめます。山麓には総面積15万㎡、400種



加美富士とも呼ばれる「薬來山」

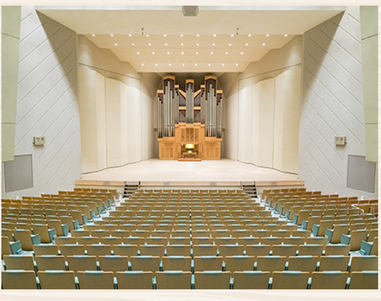
類以上の植物からなる庭園「やくらいガーデン」があり、四季を通して花々が豊かに咲き乱れ、さまざまなテーマガーデンが楽しめます。薬來エリアには



やくらいガーデン

このほかにも温泉、土産センター、コテージ、パークゴルフ場など子供から大人まで楽しめる多様なレジャー施設があります。

国内外有数の音響を誇る「中新田バッハホール」は、1981年の開館以来“田んぼの中のコンサートホール”として、全国的に知られています。音楽ホールとして世界の一流アーティストによるクラシックコンサートを開催されているだけでなく、地方における町づくりのモデルとして、全国から視察者が来館するなど、生涯学習、芸術文化振興の場として多彩に活用されています。



中新田バッハホール

中新田地区は春になると風が強く、昔からたびたび大火に見舞われました。「雲は龍に従い風は虎に従う」の中国の故事に習い火伏せのために「虎舞」が始められたと伝えられています。祭礼は毎年４月29日に行われ、午前７時から午後６時まで町内を色鮮やかな山車と虎が練り歩き、各家の防災と家内安全を祈願します。



中新田の虎舞

お問合せ先
加美町産業振興課　Tel.0229-63-6000

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形

山形県南陽市

置賜森林管理署

南陽市は、山形県南部の米沢盆地に位置しています。北部は山地で、南に広がる沃野は米・野菜・果樹の栽培に適しています。

江戸時代の頃、南陽市を治めていた米沢藩は、吉野川下流の水資源確保のため、市の北部にある水林地区330haの山林を水源涵養林と定め、山林の伐採を禁じ、見張り役である山守・水守７世帯を置きました。現在、水林地区周辺の山林は、国有林として管理されています。



水林地区にあるくぐり滝

湧き出る温泉と豊かな自然に恵まれ、四季折々の彩りが美しい悠久の歴史が息づくまち「南陽市」。

春のオススメスポットは、「日本さくら名所100選の地」として知られる烏帽子山公園。日本最大級といわれるエドヒガンザクラの群生地です。エドヒガンのほか、ソメイヨシノやシダレザクラなど約一千本の桜がお迎えします。



日本さくら名所100選の地　烏帽子山公園

夏は、ぶどう狩り。白竜湖を望む十分一山では、日照時間や昼夜の寒暖差など環境の好条件が揃っているため、良質なぶどうが栽培されます。南陽市は山形県でのぶどう発祥の地と言われ、デラウェアを始め、様々な品種のぶどうが生産されています。

自分で摘み取ったぶどうでワインづくり体験もできます。



ぶどう狩り

秋は、菊人形を飾る菊まつりとして全国一の歴史と技と文化を誇る南陽の菊まつり。豪華なフラワーアートや高貴な菊花展が楽しめます。



南陽の菊まつり

冬は、開湯930有余年を経た赤湯温泉で身体も心もポカポカに。温泉に浸かって日頃の疲れを癒し、のんびりとお過ごしいただけます。令和４年６月にオープンした公衆浴場「赤湯温泉　湯こっと」では、バリアフリー浴室完備の温浴施設で、南陽市のワインなどが一杯から楽しめます。

四季折々で変わる南陽市の魅力をぜひご体感ください。

お問合せ先
南陽市商工観光課　Tel.0238-40-8295

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

令和６年度 東北森林管理局の取組

企画調整課

４月16日に令和６年度東北森林管理局の取組を公表しました。森林・林業基本計画に掲げた「グリーン成長」の実現に向け、様々な取組を展開していきます。その中で特に重点的な取組について紹介いたします。

１．樹種や品種にこだわった再造林

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、自然環境や花粉の少ない森林への転換等に配慮しながら、利用期に達した森林を適切に伐採するとともに、適地において100%再造林を実施するなど、森林の確実な更新に取り組みます。



花粉対策苗（イメージ）

２．需要動向を踏まえた国有林材の安定的供給

地域の木材需要動向を踏まえ、国有林材の安定的な供給に努めます。この中で、高品質ブランド材についても、需要者のニーズを踏まえて供給していきます。



土場から木材を運搬

３．森林・林業全体の安全の確保

新技術の導入等により、生産性と安全性の抜本的な向上を図ります。

森林土木分野においても、ICT機器の活用により施工や施工管理の安全性や生産性の向上に取り組みます。

また、日本伐木チャンピオンシップへの協力など、関係者と連携して安全意識の向上に取り組みます。



林業事業体への安全指導

４．青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクト

日本三大美林である青森ヒバ及び秋田スギの美林を後世に引き継いでいけるよう、美林へ誘導する優良林分の掘り起こしに引き続き取り組むとともに、青森ヒバについては、令和５年度に選定したモデル林において、美林誘導に向けた施業を実施します。秋田スギについても、モデル林を選定します。



青森ヒバ美林



秋田スギ美林

令和６年度東北森林管理局の取組はホームページに公表しておりますので、是非ご覧ください。
（https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/topics/attach/240416.html）

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

山地災害に備える

近年では局所的な集中豪雨が頻発する傾向が強まり、これまでにない激甚な災害が発生しやすい状況にあり、我が国では、毎年2,000箇所以上で山地災害が発生しています。

東北森林管理局管内においては、令和５年７月15日～16日にかけて、梅雨前線が東北地方に停滞し、東北北部を中心に大雨となりました。秋田県内では激しい雨の降った所があり、秋田市では市内を流れる太平川の増水による氾濫や内水氾濫により、秋田駅東口方面で大規模な床上・床下浸水被害が発生したほか、県内各地で広域の土砂災害や河川災害が多発しています。東北森林管理局が管理する国有林でも山くずれや土砂流出による災害が発生しています。これらの災害のあった箇所においては、下流域に被害が及ばないよう災害復旧工事を実施することとしており、令和６年度内の工事完成に向け取り組んでいます。



令和５年７月豪雨災害（秋田市河辺の国有林）

このような山地災害に備える取組として、山地災害が一番多い梅雨の季節に、林野庁、都道府県や市町村では毎年、「山地災害防止キャンペーン」を全国的に展開し、住民の皆様へ山地災害危険区域の周知等を行っています。

そのほかに、林野庁ホームページには、山地災害に備える情報が掲載されています。その中のひとつに『山地災害の８つの危険信号』が掲載されていますので、この機会に確認し山地災害に備えましょう。

『山地災害の８つの危険信号』

ご関心のある方は、治山課
（TEL：018-836-2019）へお問合せ下さい。

特定母樹挿し木コンテナ苗による低コスト造林試験

当センターでは、下刈回数の削減や種苗不足の解消のため、従来の苗木より成長等が優れ、挿し木による増殖が可能な特定母樹挿し木コンテナ苗を宮城県白石市と岩手県雫石町にある試験地へ植栽し検証を行いました。

宮城県白石市の試験地では、雪風害による植栽木上部が枯れる被害が発生したため、挿し木コンテナ苗の生存率が低下しましたが、樹高成長では普通品種コンテナ苗をやや上回り、毎年下刈をした箇所と隔年下刈にした箇所とでは、挿し木コンテナ苗の成長に特段の違いは見られなかったため、隔年下刈でも十分に成長が期待できる結果となりました。岩手県雫石町の試験地では、雪害の影響により挿し木コンテナ苗に折れや曲がりが多く発生したため、毎年下刈の箇所で挿し木コンテナ苗の生存率が僅かに低くなり、成長量は普通品種コンテナ苗のほうが良好な成長を示す結果となりました。



岩手県雫石町の試験地での成長量調査状況

今回の試験について、挿し木コンテナ苗は普通品種コンテナ苗と比較して優れた成長を示す結果とまではなっていませんが、各品種を挿し木コンテナ苗にした場合の特性や初期成長の違い、雪害の影響等を考慮し、優れた木材の安定供給に努めていきます。

本取組は試験地での調査を完了していますが、定期的に調査を実施して特定母樹挿し木コンテナ苗の実用化に向けたデータを蓄積してきたいと考えています。

※特定母樹とは
特に優良な種苗の生産を行うために農林水産大臣の指定を受けたもので、種や挿し木用の穂の採取に適する樹木。

ご関心のある方は、森林技術・支援センター
（TEL：0173-57-9022）までお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として働く人の紹介です。

森林土木の魅力とやりがい

青森

(一社) 青森林業土木協会
丸か建設株式会社　永浦　剣心さん

私は現在入社６年目となり、現場監督（森林土木）として、土木工事における書類作成や現場の施工管理・安全管理等を行っています。

今まで、治山工事や林道工事など様々な工事を経験しましたが、海岸防災林の工事に携わって２年目になりました。

私が担当した海岸防災林の工事内容は東日本大震災で被災した海岸防砂地（砂浜）に海岸防災林（クロマツ等）を植えるための造成工事です。

この造成工事で植えられた苗木が生育することにより海岸防災林となり、飛砂の防止や潮害の抑制、風速を緩和し沿岸部の住宅や田畑を守る役目を果たします。

最初は何もない現場から計画し、施工が進捗していく中で変わりゆく現場を確認し、工事完成時には工事中の大変だったことも思い出の一つと感じます。また、完成した現場付近を通りかかった際には自分の携わった現場を身近に感じることができるのもこの仕事の良いところだと思います。

森林土木にもさまざまな分野があり、それぞれ違ったやりがいや魅力があり、いろいろな可能性があることから、それを見つけ学んでいくのも楽しみの一つです。

とてもやりがいのある仕事なので、職業を選ぶ時のの一つとして覚えていていただけると幸いです。



ドローンでの工事写真撮影

受け継がれてきた財産を未来へ繋ぐ

山形

庄内森林管理署　遊佐森林事務所
首席森林官　佐々木　和弘さん

当事務所は、「出羽富士」とも称される鳥海山（標高2,236m）南麓を主とする遊佐町と酒田市の一部を管轄し、庄内海岸林の国有林も管理しています（山形県を人の横顔に見立てた時の“おでこ”の位置）。

庄内海岸林は、幾度となく繰り返された戦火や乱伐等による荒廃で砂嵐が吹き荒れ、一部地域では昭和30年代まで不自由な生活を余儀なくされていました。現在、人々の生活を飛砂の被害から守っているマツ林は、およそ300年前から絶え間なく続けられた多くの先人の血の滲むような努力の結晶であり、私はこのマツ林を守り後世へ残していくための仕事に従事しています。

酒田市街地に位置する「万里の松原」は、庄内海岸林として機能を果たしながら、市民の憩いの場としても広く親しまれており、樹齢190年を超える大木が今なお残るマツ林ですが、近年は松くい虫被害が収まる気配がなく、地域の皆様からの心配の声もあり、この貴重なマツ林を守るためにできることを常に考えつつ、場所によっては自然に任せながら広葉樹の森へと戻していく、そんな将来像を描きながら業務を行っています。

現場の最先端で国有林を守り育て、山づくりの一翼を担う森林官ですが、地域の歴史に触れ、受け継がれてきた財産を未来へ繋ぐ仕事に携われることも魅力の一つかもしれません。



松くい虫被害木処理監督の様子

※佐々木和弘さんの所属部署及び役職は３月現在

東北森林管理局の管内で
予定されている

イベント情報

5月中旬

写真展「春の花」

～5月26日(日)
白神山地ビジターセンターで春の花の写真展を開催
(青森県/白神山地ビジターセンター)

菜の花フェスティバルinよこはま

5月11日(土)～5月12日(日)
菜の花大迷路や菜の花マラソン大会、ステージショーを開催
(青森県/横浜町)

からめ節金山踊り

5月14日(火)～5月15日(水)
鉱山の守り神である岡社山神社祭典で奉納踊りが行われる
(秋田県/鹿角市)

大鰐温泉つつじ祭り

5月18日(土)～5月22日(水)
温泉街を見下ろす茶臼山公園に15,000本以上のつつじが咲き誇る
(青森県/大鰐温泉観光協会)

初めての登山入門

5月18日(土)
～基礎を学んで山に出かけよう～
座学と実習で登山を楽しむ
(青森県/青森市森林博物館)

野鳥の森トレッキング

5月18日(土)
野鳥の森から白糸の滝までのトレッキング
(宮城県/ことりはうす)

栗駒山　夏山開き

5月19日(日)
毎年5月第３日曜日に行われ、残雪の中を歩き山頂を目指す
(宮城県/栗原市)

酒田まつり

5月19日(日)～5月21日(火)
1609(慶長14)年から一度も休むことなく続いているお祭り
(山形県/酒田市)

5月下旬

錦秋湖湖水まつり

5月25日(土)
湯本鬼剣舞公演や湖面を彩る豪華花火の化火大会など
(岩手県/西和賀町観光協会)

満喫！蔵王の春

5月25日(土)～5月26日(日)
蔵王の春の自然を楽しみながら新緑蔵王を満喫
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

鶴岡天神祭(化けものまつり)

5月25日(土)
学問の神様といわれる菅原道真公を祀る鶴岡天満宮のお祭り
(山形県/鶴岡市)

田中陽希とトレッキングin国見山

5月26日(日)
プロアドベンチャーレーサーと一緒に国見山トレッキング
(岩手県/北上観光コンベンション協会)

毛越寺曲水の宴

5月26日(日)
毛越寺庭園の遣水に盃を浮かべ流れに合わせて和歌を詠む歌遊び
(岩手県/毛越寺)

七時雨山山開き

5月26日(日)
「一日で七度天気が変わる」と言われる七時雨山の山開き
(岩手県/八幡平市)

タキタロウまつり

5月26日(日)
以東岳と幻の魚「タキタロウ」が棲息する大鳥池の山開き行事
(山形県/鶴岡市)

龍泉洞・清水川(しずがわ)渓流釣りまつり

～9月30日(月)
清流「清水川」でヤマメ等の渓流釣りが楽しめる(レンタル有)
(岩手県/小本川漁業協同組合)

6月上旬

第28回万国ホラ吹き大会

6月1日(土)
ホラ吹き自慢による大会が開催され、会場は爆笑の渦に包まれる
(青森県/万国ホラ吹き大会実行委員会)

八幡平山開き

6月1日(土)
八幡沼・鏡沼等の散策や奥羽山脈の広大な眺望が楽しめる
(岩手県/八幡平市)

肉の博覧会inおおだて

6月1日(土)～6月2日(日)
レアなお肉や地元の肉料理を存分に味わうことができる
(秋田県/大館市)

とおがった大道芸

6月1日(土)～6月2日(日)
遠刈田温泉を会場に国内外の大道芸人がパフォーマンスする
(宮城県/蔵王町観光協会)

第40回前沢牛まつり

6月2日(日)
楽しいイベントが盛りだくさん。日本一の前沢牛を食べて楽しむ
(岩手県/前沢牛まつり実行委員会)

第59回十和田湖湖水まつり

6月8日(土)～6月9日(日)
愛と平和への願いを込めて～バルーンランタンと花火で祈る～
(青森県/十和田湖湖水祭り運営会議、十和田奥入瀬観光機構)

小坂町アカシアまつり

6月8日(土)～6月9日(日)
町の花アカシアが咲く６月に開催される町民手作りのイベント
(秋田県/小坂町)

歩いて学ぶ白神山地

6月9日(日)
白神の森遊山道などを散策し、森、川、海のめぐみを知ろう
(青森県/白神山地ビジターセンター)

※掲載内容は、新型コロナ感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますのでご了承下さい。

新任者・退任者挨拶

4月1日付

次長



唐　澤　　智

前職：東北森林管理局森林整備部長

森林整備部長から次長に配置換になりました。引き続きご愛顧のほどお願い申し上げます。これまでの経験をいかし、東北森林管理局全体が明るく・楽しく・元気になるよう努めてまいります。また、東北の国有林が地域の皆様に愛され、役に立つ、立派な森林になれるように考えながら仕事を進めていきたいと思いますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

総務企画部長



田　中　　誠

前職：林野庁林政課管理官

総務企画部長でまいりました田中です。北秋田市（旧合川町）の出身です。昭和62年に東北森林管理局（旧青森営林局）に採用され、平成15年秋田森林管理署から国土交通省へ出向後は、林野庁本庁などほぼ東京勤務で20年ぶりの秋田です。

職員が安全で健康に仕事ができるよう、また、地域から必要とされる国有林となるよう、努めてまいりますのでよろしくお願いします。

森林整備部長



牛　尾　　光

前職：中部森林管理局飛騨森林管理署長

東北森林管理局に初めて勤務することになりました。日本三大美林の２つをもつ歴史のある局ですので、これから新しい経験ができることを大変楽しみにしています。一方で国有林の果たすべき使命があり、これらを円滑に実行できるよう局署一体となって取り組みたいと考えています。まずは仕事をするうえで体が資本です。職員の皆様が怪我なく健康で過ごせることをお祈りするとともに、自らも適度の緊張感をもちながら尽力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

技術普及課長



春　日　正　人

前職：東北森林管理局森林整備部企画官（供給戦略担当）

４月１日付けの異動で技術普及課長を拝命しました春日正人です。初めての業務となりますが微力ながら、決意を新たに業務に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いします。

技術普及課では、林業の省力化、低コスト化等に向けた技術開発を推進するとともに森林及び林業に関する知識の普及、国民参加の森林づくりの推進、森林環境教育やふれあいイベント活動の実施など国民の森林として役立つ取組を進めていきますので、引き続きよろしくお願いします。

青森森林管理署長



黒　木　　尚

前職：中部森林管理局東信森林管理署長

青森森林管理署長に着任した黒木です。東北森林管理局での勤務は初めてですが、当署の管理区域は奥羽山脈の北端である夏泊半島から八甲田山にかけて、また津軽半島東部と、自然が豊かでヒバ林やブナ等の広葉樹の天然林を数多く有しています。これらを踏まえ、地元自治体や関係機関と緊密に連携を図りながら情報発信などに努め、地域から信頼される国有林となるよう、また、職員の安全と健康を第一に、明るく風通しのよい職場作りに取り組んでまいりますのでよろしくお願いします。

下北森林管理署長



成　田　　敏

前職：山形森林管理署最上支署長

青森県出身ですが下北地域での勤務は初めてとなります。陸奥湾、津軽海峡、太平洋と豊かな海に囲まれた山々は、青森ヒバをはじめとする豊かな森林資源に恵まれており、当地域で仕事ができることを楽しみにしております。

また、地域の環境に配慮した林業や低コスト化等「新しい林業」に向けた取組を進め、地域の森林・林業・木材産業の振興に貢献できるよう、署員と共に頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

岩手北部森林管理署長



庄　司　卓　矢

前職：東北森林管理局森林整備部技術普及課長

岩手県内の勤務は２回目となります。山、地域、人を良く知り、安全で円滑に事業を進めていきたいと考えております。また、岩手山や八幡平をはじめとする豊かな自然環境と日本の漆文化を支える国産漆の一大産地を持つ魅力溢れる地域のためにお役に立てるよう職員とともに取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

岩手南部森林管理署長



志　磨　　克

前職：林野庁林政部企画課課長補佐（総務班担当）

岩手南部森林管理署長に着任した志磨です。前職は林野庁企画課でその前も民有林や出向先での勤務が続いたため、国有林業務は13年ぶり、森林管理署の現場での勤務は26年ぶりとなります。この間に国有林を取り巻く状況が大きく変わった部分もありますし、東北森林管理局管内での業務は初めてということもあるので、早くキャッチアップして、管内の市町村や事業体の皆様、職員と連携しつつ、地域にとって有意義な国有林となるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

庄内森林管理署長



石　田　秀　夫

前職：林野庁国有林野部管理課課長補佐（施設営繕班担当）

盛岡森林管理署以来、10年ぶりの東北森林管理局管内での勤務となります。多様な森林づくりや木材の安定供給、海岸防災林の整備などを進め、国有林としての役割をしっかりと果たしていくとともに、自治体等の民有林関係者や森林組合、山形大学などと連携を図りながら、庄内地域の森林・林業・木材産業の振興に取組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

山形森林管理署長



添　谷　　稔

前職：岩手南部森林管理署長

前職に引き続き東北での勤務となりますが山形県での勤務は初めてです。山形の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

蔵王の樹氷再生に向けた取組を県民運動として進めていくことを始めとして、地域の皆様の声を聴きながら国有林の管理経営を進めていきます。

また、「新しい林業」に向けたICTの活用等に積極的に取り組むとともに、森林・林業分野の地域課題の解決にむけて民有林の皆様との連携を深めていきたいと思います。

山形森林管理署最上支署長



伊　東　弘　至

前職：三陸北部森林管理署　次長

新採当時の勤務地である最上支署に37年ぶりに着任しました伊東です。

地方自治体や林業関係機関等と連携を密にして、地域から国有林があって良かったと思われるように、職員と一丸となって業務に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

置賜森林管理署長



笠　井　修　一

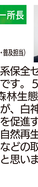
前職：林野庁森林整備部研究指導課課長補佐（保護指導班担当）

森林管理署勤務は13年ぶりであり、東北森林管理局での勤務も初めてとなりますが、雄大な朝日、飯豊及び吾妻連峰に囲まれ、ブナ林など貴重な自然が豊富な当地において、豊かな自然を守りつつ、国土強靭化や生物多様性にも配慮した持続可能な森林管理を目指し、地元市町村や関係団体等のご意見をお聞きしながら、地元から信頼される国有林であるよう全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

新任者・退任者挨拶

4月1日付　3月31日付

津軽白神森林生態系保全センター所長

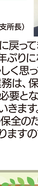


田　中　邦　子

前職：東北森林管理局森林整備部企画官（技術開発・普及担当）

４月から津軽白神森林生態系保全センターに勤務することになりました田中です。５年ぶりの青森県内の勤務となります。森林生態系保全センター勤務は初めてとなりますが、白神山地の貴重な生態系の管理と適切な利用を促進するため、巡視活動やパンフレットによる自然再生活動、林業体験等を通じた森林環境教育などの取組を関係機関と連携して進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

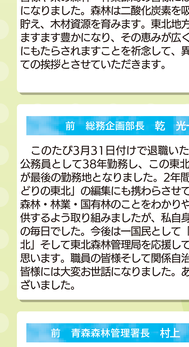
朝日庄内森林生態系保全センター所長



十　川　尚　久

前職：復興庁岩手復興局参事官（宮古支所長）

２年ぶりに東北森林管理局に戻ってきました。鶴岡市旧朝日村の勤務は約３０年ぶりになりますが、変わらない山並みを眺め懐かしく思っております。森林生態系保全センターの業務は、保護地域の巡視や現場での作業など体力が必要となりますので、体の健康、安全第一に努めていきます。職員ともに森林環境教育や朝日山地の保全のために関係機関と連携して取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



前　次長　小島　健太郎

３月31日付けで林野庁を退職し、森林総合研究所林木育種センターに出向することになりました。わずか１年４か月の間でしたが、国有林野等所在市町村長有志協議会などを通じて、市町村の皆様や県の森林・林業部局の皆様には大変お世話になりました。森林は二酸化炭素を吸収し、水を貯え、木材資源を育みます。東北地方の森林が、ますます豊かになり、その恵みが広く地域の皆様にもたらされますことを祈念して、異動にあたっての挨拶とさせていただきます。

前　総務企画部長　乾　光一

このたび3月31日付けで退職いたしました。公務員として38年勤務し、この東北森林管理局が最後の勤務地となりました。2年間広報誌「みどりの東北」の編集にも携わらさせていただき、森林・林業・国有林のことをわかりやすく情報提供するよう取り組みましたが、私自身が日々勉強の毎日でした。今後は一国民として「みどりの東北」そして東北森林管理局を応援していきたいと思います。職員の皆様そして関係自治体、業界の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

前　青森森林管理署長　村上　卓也

４月１日付けで中部森林管理局へ異動となりました。令和元年12月から津軽森林管理署、令和３年７月から青森森林管理署に勤務し、白神山地や八甲田山のブナ林、津軽半島の青森ヒバの美林等、津軽地方の山々を身近に感じながら過ごさせていただきました。

令和４年８月の大雨災害の復旧、コロナ禍における国有林材の安定供給など、皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。東北森林管理局の皆様の益々のご発展を祈念しております。

前　岩手北部森林管理署長　東海林　晃

今年度から定年延長となりましたが、まだ違うことをやってみたいとの思いから、延長せず、今回退職することとしました。42年間国有林にとどまらず、林野庁等様々な経験ができ、森林行政への幅はもちろん、何より人とのつながりが増えたことが私にとって大きな財産となりました。当時助けていただいた先輩・同僚・後輩への感謝と今後皆様のご活躍を祈念し退任の挨拶といたします。

前　庄内森林管理署長　山之内　弘幸

４月１日付けで北海道森林管理局網走南部森林管理署へ異動となりました。令和４年４月に赴任してきてから２年間、『民国で連携を図りながらの庄内海岸林の松くい虫被害対策』や『早生樹であるユリノキの試験植栽』など、様々な取組をさせていただきました、地域の関係者や署内スタッフの助けがあったからこそ、ここまで来られたものと心より感謝申し上げます。次の現場でもやりがいをもってガンバってみたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。本当にありがとうございました。

前　置賜森林管理署長　水野　明

２年間、東北の皆様、とりわけ置賜地域の森林・林業関係の方々に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

森林管理署勤務は23年ぶりでしたので、当時との違いを感じることが多く、中でも県・市町と連携して地域の課題に取り組んでいる点は印象的でした。

管内には森林被害や災害復旧といった課題があって、在任中これらに携わりましたが、今後も森林管理署の組織、技術、資源が地域の森林・林業の振興に貢献することを期待しています。

前　山形森林管理署長　益田　健太

四国森林管理局へ異動となりました。東北での勤務は３回目でしたが、今回も地域や局署の皆様に支えられて、楽しく過ごすことができました。

山形は四季折々のフルーツ、ラーメンや蕎麦など多彩な麺類、美味しいお酒、さのこや山菜に恵まれた魅力あふれる土地柄でした。

これらに木材も加わって、豊富な地域資源が存分にかつ持続的に生産・活用されながら、さらに発展していくことを願っております。３年間お世話になりました。心より感謝申し上げます。

前　津軽白神森林生態系保全センター所長　髙木　善隆

４月１日付けで総務企画部総務課に異動することとなりました。

令和４年に着任してからの２年間、白神山地の保全管理や森林環境教育等を関係機関と連携しながら進める中で、世界自然遺産登録30周年記念を迎え、自然環境をしっかりと守り、次世代に引き継いでいくことが重要であると再認識しました。

これからは、白神山地の一応援団員として、その価値や魅力を多くの方々に発信し、応援していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

前　朝日庄内森林生態系保全センター所長　中嶋　一

４月１日付けで計画課へ異動となりました。

令和３年４月からの３年間、朝日山地生態系保護地域における保全管理を主体に環境教育や庄内海岸林の森林整備活動の支援等を行い、広大な朝日山地の保護活動を管理するに関係者の皆様（関係団体、局、庄内署、山形署、置賜署）に協力をいただき朝日山地の生態系等を守る活動が出来ました。

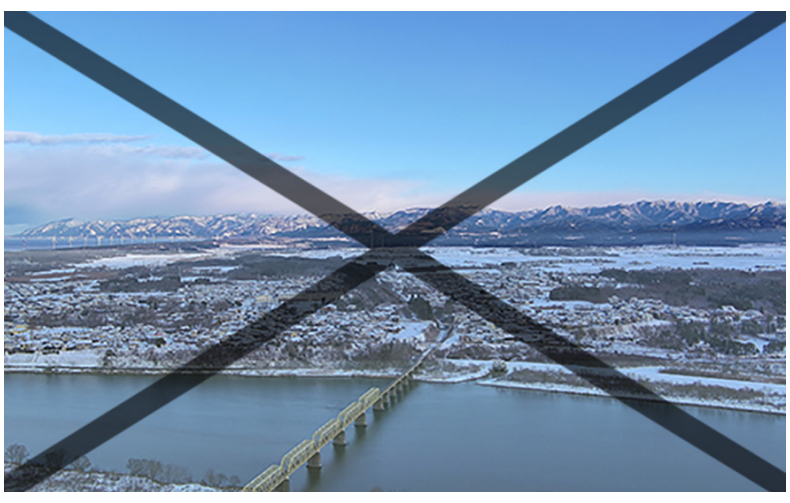
引続き計画課での仕事に携わりますので、今後ともよろしくお願いします。

「みどりの東北No.239（2024.2月号）」の表紙写真に関する不適切事案の発生について（お詫び）

広報誌「みどりの東北No.239（2024.2月号）」の表紙写真については、令和５年12月25日に米代西部森林管理署敷地内（駐車場）から職員が無人航空機（以下、「ドローン」という。）を飛行させて撮影した白神山地の遠望風景を掲載していたところですが、当該撮影にかかるドローンの飛行において、航空法令に抵触する事案が確認されたため、本事案及び再発防止策について国土交通省航空局に報告いたしました。これに対し、国土交通省航空局からは、今後は再発防止策に取り組んだうえで、適切な運航を行うよう指導をいただいております。

ドローンの飛行に当たっては、法令に則ったうえで十分な安全を確保しなければならないと認識しており、このような事案を発生させたことについてお詫び申し上げますとともに、当局ホームページに掲載している広報誌「みどりの東北No.239（2024.2月号）」の表紙写真については、５月13日付で差し替えさせていただきました。

〈差し替え前〉



〈差し替え後〉



「みどりの東北No.239（2024.2月号）」の表紙写真

今後、以下②の再発防止策に取り組み、同様の事案が発生することのないよう努めてまいります。

①事案の概要

令和５年12月25日午前8時35分ごろ、広報誌掲載用写真の撮影のため、米代西部森林管理署敷地内の駐車場からドローン（Autel EVO2）を飛行させ、北側の遠望（白神山地）を撮影した。

ドローンの発着地点は署の敷地内であるが、当該ドローンから30mの範囲内に第三者物件（電線等）が存在することから特定飛行（※）に該当するところ、米代西部森林管理署では特定飛行に該当しないものと誤認し、必要な申請を行っていなかった。なお、本件に関し事故や重大インシデントに該当する事案は発生していない。

②再発防止策

・職員に対する関係法令の再周知
・職員が行うドローンの飛行にあたり、法令遵守の確認を強化
・当面、職員が行う庁舎等周辺での飛行を禁止

※航空法において、国土交通大臣の許可・承認等が必要となる空域及び方法での飛行

お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

みどりの東北 Midori no Tohoku

東北森林管理局
〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

No.242　●発行日／令和６年５月　●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

●広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら→